



シンガポール事務所

日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業 「日本村」への参加および「JETAA インドネシア支部設立記念レセプション」を実施！

クレアシンガポール事務所は、9月14日から9月20日にかけてインドネシアのジャカルタ郊外にて開催された日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念イベント「日本村」にブースを出展しました。高知県および東京都豊島区と共同でブース運営をするとともに、日本の自治体の観光パンフレットを配布することで日本の地域の魅力を発信しました。また、浴衣フォトコーナーや仙台七夕の短冊作りワークショップ、けん玉などを通して日本文化を来場者に体験してもらいました。ステージイベントでは、在インドネシア沖縄県人会による三線の公演、在シンガポールすずめ踊り団体による仙台すずめ踊りの公演、インドネシア大学による盆踊りを通して会場を大いに盛り上げました。

また、9月18日に、JETAA インドネシア支部設立記念レセプションを駐インドネシア日本国大使公邸で開催しました。Doddy Alfero 会長が設立を高らかに宣言し、駐インドネシア日本大使、クレア岡本理事長、在インドネシア日系企業関係者など、出席者全員で JETAA インドネシア支部の誕生を大いに祝いました。今後 JETAA インドネシア支部は、新規 JET 参加者や帰国 JET 参加者のサポートのほか、インドネシア各地での日本文化の紹介などを行う計画です。インドネシアからは 1998 年以降、CIR（国際交流員）が 13 名、SEA（スポーツ国際交流員）が 3 名の計 16 名の方々が JET プログラムに参加しています。元 JET 参加者の数はまだ多くありませんが、JETAA インドネシア支部が日本とインドネシアの懸け橋となり、また、インドネシアにおける JET プログラムの促進に貢献することにより、両国の絆がさらに強くなることが期待されます。



JETAA インドネシア支部設立記念レセプションの様子



日本・インドネシア国交樹立 60 周年記念事業「日本村」の様子



シドニー事務所

オーストラリアで日本の桜の名所を PR！

8月25日、26日の2日間、シドニー郊外にあるオーバーン植物園で開催された Sydney Cherry Blossom Festival 2018 にブース出展しました。当イベントは、8月17日から26日にかけて開催され、園内の日本庭園に咲くオーストラリアでは珍しい桜を一目見ようと、約9万人が訪れました。

当事務所は、日本の26の自治体が作成した「桜」をコンセプトとした観光パンフレット、ポスターなどを用いて、来場者に日本における桜の名所を紹介しました。

ブースを出展した2日間はあいにくの雨模様でしたが、来場者は合計で約2万6,000人に上りました。多くの来場者が、「桜」というキーワードの観光情報にとても高い関心を示し、「来年、桜を見に日本に行く予定だが、何月に、どこに行けばいいのか」といった具体的な質問も多くいただきました。また、自治体パンフレット以外にも、日本全国の桜の開花時期を資料にまとめ、それぞれの自治体の紹介に併せて来場者に配布したところ、日本旅行を計画する際にとても参考になるということで、大変喜んでもらえました。

当イベントの人気は年を追うごとに高まっており、同園を管理しているカンバーランド市は、現在、日本庭園の丘陵となっているエリアに新たに桜を植えており、同市の担当者は、より豪華な桜景色で来場者を楽しませたいと意気込んでいました。

桜と聞いて日本をイメージする当地の方々に実際に日本に足を運んでもらえるよう、引き続き、自治体の観光 PR を支援してまいります。



来場者に日本の桜の名所を紹介する職員



桜並木での散策を楽しむ来場者



パリ事務所

「アール・ブリュット ジャポネⅡ」がフランスで開催！

日本のアール・ブリュット作品を紹介する展覧会が9月8日からパリのアル・サン・ピエール美術館で開催されています。

アール・ブリュットとは、美術の専門教育を受けていない人々の独自の発想や方法により生み出された芸術を言います。「アール」は「芸術」、「ブリュット」は「磨かれていない」「生のままの」を表すフランス語で、画家のジャン・デュブッフによって1945年に提唱されました。

2010年に同美術館で開催された1回目の展覧会には12万人もの人が訪れるなど、日本のアール・ブリュットは世界各国から注目を集めています。

第2弾となる今回の展覧会は、東京都とパリ市が行う文化交流事業「パリ東京文化タンデム2018」の一環で、またジャポニスム2018特別企画として来年3月10日まで開催されます。既存の枠にとらわれない折紙の応用から伝統的な陶芸を用いたものまで、日本の作家52組によるさまざまな作品が展覧されています。

9月7日のベルニサージュ（内覧会）には、ジャン＝マルク・エロー氏（元首相）や、多くの美術関係者らが集まり、オープン後も多数の来場者で賑わいを見せています。



多くの人を魅了する日本のアール・ブリュット



アル・サン・ピエール美術館



北京事務所

第1回アジア国際美酒コンテストを北京で開催

日中平和友好条約締結40周年の関連イベントとして、クレア北京事務所などが後援した「第1回アジア国際美酒コンテスト in China」が8月24日から26日まで、北京市内の大規模商業施設で開催されました。

このコンテストは、24府県・62の酒造会社から出品された約140本の日本酒を、現地で募集した約1,000人の中国人に試飲してもらい、吟醸酒や純米酒といったカテゴリごとくに評価の高い銘柄を決めるというもので、各部門の審査結果は9月下旬に発表されました。試飲会場では真剣な表情でテイスティングを行う中国人参加者の姿が目につきました。

日本酒の中国向け輸出金額は2016年に約14億5,000万円だったところ、2017年は約26億6,000万円と急激な伸びを見せています。中国で日本料理店が増えるのに伴い、中国人が日本酒に触れる機会が着実に多くなっていく中で、今後もこの輸出増加傾向は続くものと予想されています。



開会イベントでの鏡開き



テイスティングを行う中国人参加者



ニューヨーク事務所

滋賀県とミシガン州が 姉妹提携50周年記念式典を開催

9月7日、滋賀県とミシガン州の姉妹提携50周年を祝う式典がデトロイト市内で開催され、滋賀県の三日月大造知事とミシガン州のスナイダー知事をはじめ、両県州内の姉妹都市関係にある市の市長、県民使節団など約250名が参加しました。スナイダー知事は50年にわたり友好関係を育み発展させてきた先人を称え、三日月知事は湖沼環境の重要性を共に世界に発信したいと述べ、両知事は今後のさらなる関係の強化に意欲を示しました。また、同県の県民使節団は滞在中、州内にホームステイをして地元の方々との交流を深めたほか、州の特産物であるチェリーの産地であるトラバースシティなど各地を訪れました。



「フェローシップ」 25周年記念イベント開催

9月8日、ワシントンD.C.で、「フェローシッププログラム」（海外自治体幹部交流協力セミナー）の25周年を祝い、過去に同プログラムに参加した北米の地方政府関係者らを招いて記念イベントを開催しました。同イベントでは、参加者から自身の体験が語られたほか、過去の受け入れ団体の中から宮城県と鳥取県の職員も参加し、同プログラムで得た経験や受け入れ後の交流事例が紹介されました。在米国日本大使館旧公邸で行われたレセプションでは、太鼓パフォーマンスも披露され、参加者は日本食を楽しみながら、訪日の思い出話を花を咲かせるなど、交流を深めました。





ロンドン事務所

「HYPER JAPAN Festival 2018」(英国・ロンドン)に出展しました

7月13日から15日までの3日間、ロンドン西部の大規模イベント施設 Olympia にて英国最大級の日本文化紹介イベント「HYPER JAPAN Festival 2018」が開催されました。日本の伝統文化からゲーム、アニメ、ファッションなどのポップカルチャーに至るまで幅広く網羅する本イベントは、今回で14回目を迎え、約300もの企業・団体・個人が出展し、約8万人が来場しました。また、今回は初の試みとして、食専門のBtoB展示会「JAPAN FOOD SHOW」も行われました。

当事務所では、昨年に引き続き、日本政府観光局(JNTO)ロンドン事務所とブースを隣接化させ、間の仕切りを一部取り外して合同ブースとしました。当事務所側のスペースにおいては、昨年に引き続き、各自治体提供のパンフレットやポスターを活用し、日本の地域をPRするとともに、訪日旅行についてのアンケートを実施しました。各地の具体的なおすすめスポットを知りたい方は当事務所のブースへ、逆に訪日旅行の総合的な情報や旅行のプランニングに関する相談をされたい方などは JNTO のブースへ誘導するなど、双方の強みを活かした、各来場者のニーズに応じた効果的なPRを行うことができました。

また、主催者が実施しているマスコミ、旅行業者を対象としたトラベルセミナーにおいて、当事務所職員(茨城県派遣)が茨城県の観光PRのプレゼンテーションを行いました。来場者からは、ひたち海浜公園のネモフィラやコキアの美しさに驚いたという意見が多数あったほか、笠間焼のツアーに関する問い合わせがあり、会場でも販売されていた地ビール「ネストビール」が完売するなど、大きな反響がありました。



会場の様子



クリアブースの様子



ソウル事務所

「日韓交流おまつり 2018 in Seoul」が開催！

9月9日、日韓最大の草の根交流イベント「日韓交流おまつり 2018 in Seoul」がソウル市江南区の COEX で開催されました。

2005年に日韓国交正常化40周年を記念して始まった本イベントは今年で14回目となり、子どもから大人まで幅広い世代の方が大勢来場しました。

今年は「一緒につなごう 友情を未来へ」をテーマに、ユネスコ世界記憶遺産登録1周年を迎える「朝鮮通信使」の再現パフォーマンスをはじめ、両国の文化芸術団体による舞台公演が行われるとともに、在韓日系企業の紹介や両国の文化を体験できるブースが設置されました。日本の自治体も多くのブースを出展し、各地域のPRを行いました。そのほか「TOKYO2020」ブースや「朝鮮通信使」ブースも出展し、会場を盛り上げていました。

クリアソウルのブースでは、パンフレットや映像を通じて日本各地の観光PRを行ったほか、日本の地域に関するクイズや抽選会、地域限定のお菓子の試食会などにより、来場者との交流を通じて、まだ知られていない日本の地域の魅力を発信しました。

また、JETAA 大韓民国支部による JET プログラムについての紹介も行い、JET 経験者による業務や日常生活に関する体験談を通じて、本プログラムへの理解を深めていただくとともに、プログラムへの参加促進を図りました。

イベント最後には、出演者や出展者、ボランティア、観客を含めたおまつり参加者全員によるフィナーレ公演が行われ、会場がひとつになりました。

※日本からの出展自治体：青森県、岩手県、宮城県、横浜市、新潟県、静岡県、鳥取県、山口県、香川県、長崎県(10団体)



クリアブースでの地域限定お菓子の試食会



自治体ブースの様子

交流親善課

国際交流支援事業（助成金）への
応募受付中です！！

地域の国際化を推進するため、地方公共団体および地域国際化協会が主体的に行う国際交流事業のうち、特に重要性、必要性の高い事業について国際交流支援事業の応募を受け付けています。

- ・対象：都道府県、市区町村、地域国際化協会
- ・助成金額：助成対象経費の1/2以内の額で上限は次の金額
海外で行う事業… 上限 500 万円
国内で行う事業… 上限 300 万円

- ・応募期限：11月30日（金）

※詳しくは HP をご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/page-5.html>

■お問い合わせ先 交流親善課

Tel：03-5213-1723

Mail：koushin@clair.or.jp

第13回（平成30年度）自治体国際交流表彰
（総務大臣賞）の候補団体を募集中です！！

クレアでは、総務省との共催により、毎年「自治体国際交流表彰（総務大臣賞）」を実施しています。本事業は、素晴らしい取り組みであるにもかかわらずまだ知られていない国際交流の事例を掘り起こし、その取り組みを表彰することにより、広く全国に発信していくものです。

応募は自治体だけでなく、自治体からの推薦があれば、民間団体などからもご応募できます。

この機会に、日頃の活動の成果をふるってご応募ください。

多くのご応募をお待ちしております！

- ・表彰対象団体：都道府県、市区町村、地域国際化協会、国際交流協会などの民間非営利団体
- ・表彰対象取組の例：①経済交流、②教育交流、③文化・スポーツ交流、④国際協力、⑤多文化共生交流、⑥東日本大震災復興に係る交流、⑦その他交流

- ・応募期限：11月30日（金）

※詳しくは HP をご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html>

■お問い合わせ先 交流親善課

Tel：03-5213-1723 Mail：shimai@clair.or.jp

多文化共生課

第1回多文化共生の地域づくりコースが開催されました！

8月27日から31日までの5日間、滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所（JIAM）にて、JIAMとクレアとの共催研修「平成30年度第1回多文化共生の地域づくりコース」が開催されました。

本研修は、自治体や地域国際化協会の職員を対象に、地域における多文化共生の課題を分野別に学んでもらい、多文化共生の地域づくりに必要な人材を養成するため、年2回開催しています。第1回の今回は、全国から37名の方が参加し、参加者は研修終了後「JIAM 多文化共生地域づくりサポーター」に認定されました。

充実した講師陣から多くの知識を学ぶことはもちろん、演習やグループ発表を通じて普段接点がない他自治体の職員などと意見交換し、活発な交流が出来るよい機会となりました。

第2回の研修は、平成31年2月4日（月）～2月8日（金）の5日間、申込み期限は、平成30年12月18日（火）です。詳細はJIAMのHP（<http://www.jiam.jp>）をご覧ください。多文化共生に関する知識を習得できる充実した研修内容となっておりますので、ぜひお申込みください。



先進自治体による事例紹介の様子



受講生によるグループ発表の様子

JET プログラム事業部

JET 参加者向けにインターンシップを実施！

クレアでは、グローバル人材を求める企業と国際感覚を身につけた人材である JET プログラム参加者双方のニーズを踏まえ、日本国内において互いの出会いの場を提供するため、「JET キャリアアップインターンシップ研修プログラム」を平成27年度から実施しています。

今年度は、7月23日～27日および8月27日～31日の期間に実施し、さまざまな業種の企業21社に JET インターンシップ実習生28名を受け入れていただきました。また、初めての取り組みとして、インターンシップ実習生に対し、ビジネスマナーや日本での就職活動などについて事前研修を行いました。

また、東京都と連携し、東京都主催の「中小企業の外国人材受入支援事業」の一環として実施されたインターンシップにも15名を派遣しました。

約1週間という短い期間でしたが、「本研修を通じ、普段学校・役場で取り組んでいる仕事と全然違う業務に携わることで、広く職業に対する理解を深めることができ、自己の職業適性や将来設計について考える機会になった」という参加者からの嬉しい声がありました。今後も、JET 参加者の JET 終了後の主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図り、JET 参加者のキャリア支援に力を入れています。



研修を受講するインターンシップ実習生（右側の2名）